

令和5年度第2回我孫子市入札等監視委員会会議概要

- 1 会議の名称 我孫子市入札等監視委員会
- 2 開催日時 令和6年2月15日(木)午後2時から午後3時15分まで
- 3 開催場所 議会棟AB会室
- 4 出席者
 - (1) 委員
原 崇人委員(委員長)、福島 光三委員
 - (2) 事務局
中光財政部長、須賀財政部副参事、宮川、石井
- 5 議題
 - (1) 令和5年度検定満期水道メータ取替業務委託(単価契約)
 - (2) 令和5年度我孫子市水道局水道メータ修理(小口径)
 - (3) 我孫子市緊急通報システム事業業務委託(単価契約)
 - (4) マイナンバーカード交付前事務及びマイナポイント申込等支援業務委託
 - (5) ふるさと納税業務一括代行委託
 - (6) 令和5年度手指用アルコール消毒液購入(単価契約)
 - (7) 我孫子市役所議会棟第一委員会室改修工事
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議の内容 議事

9 議事

- (1) 令和5年度検定満期水道メータ取替業務委託(単価契約)

【担当課：水道局経営課】

担当課(石井)：内容について説明した。

福島委員：検定満期は、何年くらいを想定しているのでしょうか。

担当課(石井)：計量法72条の規定に基づいて、8年を超えない間に交換をします。

福島委員：この交換というのは、ゴムパッキンの部分と鉄の部分とあると思いますが、金属の部分が形状変化していないのであれば、再利用する交換ですか。

担当課(洞毛)：計量法のとおり、8年間しか使ってはいけなくなっていますので、メータ自体を交換いたします。

福島委員：令和5年度の入札参加者が1者だけでした。市内には8者同じ業者があります。令和3年度、4年度は2者参加していましたが、こちらの工事が魅力あるものかわからないですが、持ち回り輪番制みたいな形で談合が懸念される不安もありますが、市としてはどのように考えていますか。

担当課（洞毛）：今回応札した業者以外に、入札書を手渡しで受付けてほしいという業者がいましたが、公告では手渡しは受付けていないことから最終的に1者になったものです。そのため業者が1者に固定しているということはありません。

福島委員：自然災害が起きたときに、大規模に交換するようなことが検定満期以前にも発生すると思いますが、その場合はどのような対応になりますか。

担当課（洞毛）：災害が発生した場合は、今回とは別の契約で業者に取り付けてもらうこととなります。

原委員長：この契約は単価契約で、3ページを見ると数量が1万238個となっているが、この個数は実際に交換が行われるものと合致するのですか。

担当課（洞毛）：メータ交換については、開栓してお客様が使用しているもの、閉栓して現在使用していないものも含め交換を行っているので個数については、同程度の個数となっています。

原委員長：次に、令和4年度について、個数がいくつであったかと、できればそのときの入札額と予定価格を教えてください。

担当課（石井）：令和4年度の予定個数は1万1348個です。

担当課（洞毛）：落札額は、税抜きで3338万4531円です。予定価格は税抜きで5217万4709円です。

原委員長：そうすると、去年の実施自体が、今回の落札額に近い額というような形ですね。なにを言いたいかということ、予定価格は、昨年度の実績を踏まえて見直すことで、もっと下げられなかったかということですか。

担当課（洞毛）：予定価格の算出に当たりましては、積算根拠に基づいて算出していますので、そちらの変動幅が反映されたものとなっています。例えば、落札率が低かったので、積算した額に落札率をかけるということはしてはいません。

原委員長：毎年、予定価格と落札額に乖離があるとすると、予定価格自体の見直しも検討する必要があると思いました。

(以上)

(2) 令和5年度我孫子市水道局水道メータ修理（小口径）

【担当課：水道局経営課】

担当課（洞毛）：内容について説明した。

福島委員：落札率が37.01%ということで、安く入札すればするほど、市としては予算が有利になると思いますが、あまり安い賃金で労働契約を結ぶということは、最低賃金などの兼ね合いもあります。この業務は工事になるのですか。

担当課（洞毛）：修理したメータを購入するものになります。

福島委員：工事製造とは別ですね。そうすると最低賃金の基準はクリアしていると考えてよろしいのでしょうか。

担当課（洞毛）：基準はクリアしていると考えています。

原委員長：7者から見積りを徴取したということですが、今回入札参加が6者でこれは基本的には一致しているのですか。

担当課（洞毛）：基本的には一致しています。

原委員長：そうすると、見積り金額と応札価格にかなり乖離がありますが、何か理由を聞いていますか。

担当課（洞毛）：確認したところだと、見積りを出す段階では、定価でしか出せない業者がいて、応札するに当たっては、例えば、工場の稼働状況であったり、近隣の状況も踏まえて、価格を下げて応札するという話は聞いたことがあります。

担当課（土屋）：メータも大量に生産をして、それを在庫として持っていること自体もマイナスではあるので、時期によってはかなり安くできる時期もあるし、在庫として抱えるよりは安く売ってしまった方がいいとか、いろいろな判断が加わります。また、受注を受ける地域が千葉県である方が運搬などをし易いとか、この辺りの地域をまとめて受注した方がいいとか、いろいろな要素が複合的に重なって、安くできる時期もあるとか、会社ごとの強化したい時期と量が重なると安くできる時はあると教えてくれたところがありました。

原委員長：予定価格の算出が適正なのかが一番気になっていまして、今のような質問になったわけですが、ちなみに、第2順位と第3順位の落札率は何%ですか。

担当課（洞毛）：第2順位が48.54%で、第3順位が50.46%です。

原委員長：わかりました。今回の落札者が飛びぬけて低いわけでもないですね。
(以上)

(3) 我孫子市緊急通報システム事業業務委託（単価契約）

【担当課：高齢者支援課】

担当課（三井）：内容について説明した。

福島委員：利用を希望された方が実際に機器を導入されるまでというのは、どういった手順を踏むのですか。

担当課（三井）：我孫子市には、市内5か所になんでも相談室があり、市役所の本庁でも受け付けていますが、まず受付をして、ケースワーカーが機器を設置してほしい方に話を伺いに行き、ご本人の状況や家の状況を確認して、設置する、しないの判断をします。

福島委員：この契約は、今回から3年契約に変わるのですか。

担当課（三井）：前回も3年契約でした。令和2年、3年、4年の3年契約で、今回は令和5年、6年、7年の3年契約となっています。契約については、業者を変更して、機器を変えることはとても大変で、3年ではなく、5年でもよいのではないかと考えますが、人件費の高騰などもありますので、現状は3年契約で、可能であれば5年契約も考えていきたい。

福島委員：同じようなサービスを提供している業者が複数あると最初に説明がありました。仮に業者を変更することになると、相当大変な作業になるという

認識ですか。

担当課（三井）：令和2年度に直営から業者に切替えたときは、利用者との打ち合わせの日程調整や、機器を回収して新しい機器を設置する作業など、とても大変で半年掛ったと聞いています。

福島委員：利用者が施設に入るなり、若しくはお亡くなりになることで、使用しなくなった機器は業者の方で適切に管理して回収しているということですか。

担当課（三井）：なんでも相談室や市に、亡くなったことや施設に入所したと連絡が来るので、市が業者に連絡して利用者と業者で調整して機器を取り外して回収することとなっています。そのため、利用していないのに何か月も経過しているということはありません。

福島委員：なんでも相談室が最初窓口になっているとのことですが、その後、定期的に利用者のお宅を訪問して、利用状況を確認しているのですか。

担当課（三井）：機器を設置した利用者でも、よく訪問する方とそうでない方がいると思うので、その判断はなんでも相談室がしていると思います。

福島委員：ちょっと聞き方を変えると、なんでも相談室では、どこの家にこの機器を設置しているか、リストは所持しているのですか。

担当課（三井）：すべてのリストは渡していませんが、なんでも相談室から申請があった人については把握していると思います。

原委員長：緊急通報があってもなくても、利用者の負担は500円ですか。

担当課（三井）：そのとおりです。また、低所得の方は無料です。

原委員長：まだ台数が200台ぐらいしかないので、今後増えてくれば月々の単価が減額されることも考えられますか。

担当課（三井）：今後利用が増えてくると予算も増えてしまうことから、線引きをどうするのかということがあります。緊急通報システムは、大手の会社でも行っており、個人で契約している方もいます。所得のある方については、個人で契約をお願いして、低所得の方に限定して台数を抑えていくしかないのではないかと考えています。

（以上）

（4） マイナンバーカード交付前事務及びマイナポイント申込等支援業務委託

【担当課：市民課】

担当課（寺田）：内容について説明した。

原委員長：最初にいただいた資料だと、入札参加者は8者でしたが、実際の応札は4者ということでしょうか。また、契約期間は6月末までですか。

担当課（寺田）：応札は4者でした。また、契約期間については6月末でしたが、マイナポイントの延長があり、変更契約で9月末まで延長しています。

原委員長：月当たりの単価の金額は、変わらずそのままですか。

担当課（寺田）：月当たりの単価は変わりません。ただ、機材等当初は準備していただいて、その分が上乗せになっていますので、延長になりその機材等の金額がカットされています。

福島委員：委託金額がとても安い金額ですが、安く応札した理由はわかりますか。

担当課（荒井）：埼玉県でマイナポイントのサポート事業を4市か5市行っていて、そのノウハウを引き継いで、我孫子市では安い金額で受託していただいたものと考えています。

（以上）

（5） ふるさと納税業務一括代行委託

【担当課：財政課】

担当課（須田）：内容について説明した。

原委員長：この代行委託ですが、これは1者でないといけないのですか。2者3者と契約することも可能なのでしょうか。

担当課（須田）：仕組み上は可能です。ただ、本市では8つのポータルサイトに掲載をしていますが、それを各返礼品を出してくれる業者とやり取りをして、ポータルサイトに載せる手続が必要になりますので、特定の業者にやっていただいた方が効率的に運用ができると考えています。

原委員長：寄付額の8%なので、業者が増えることで寄付額が増えるわけではないということでしょうか。

担当課（須田）：そのとおりです。委託でお願いするものは、検索ポータルサイトに掲載するまでの手続をやってくれるところになります。窓口としての媒体であるポータルサイトがたくさんある方がいいという話かと思いますが、それはそのとおりでして、本市も拡大している状況です。

原委員長：17ページの下段の方で見ると、我孫子市としては寄付額が4100万円ですが、逆に他の自治体に寄付したことによる歳入の減額は4億5000万円ですね。

担当課（須田）：そのとおりです。

福島委員：公募型プロポーザルで選定したとのことですが、この我孫子市の魅力的な商品開発という部分が、ふるさと納税では、一番ポジティブな内容になるかと思いますが、商品開発あるいは宣伝広告のような、何か企画されるような案件があったのでしょうか

担当課（須田）：その当時何か新たなものを開発していくとの特定の提案があったわけではないです。まず、本市の場合ラインナップを少しでも多く増やさなければいけないというところで、市内にある事業者で積極的に取組みをいただければいいというところを足を使って回る必要等があり、具体的な方策について提案が

あったところでは。

福島委員：公募型プロポーザルということであれば、提案内容が充実しているのであれば、見積り金額が多少高いとしても、今後の我孫子市の物産の振興を考えると一つ視野にいれてもいいのではないのでしょうか。

担当課（須田）：今回、公募型プロポーザルの評価結果表を掲載していますが、見積り金額では、フューチャリンクネットワークが一番高い金額でした。しかし、このフューチャリンクネットワークが提案している3つの内容が、見積り金額の差を上回り、最終的に当該業者を特定しています。

担当課（関口）：返礼品の数を増やす、裾野を広げたいというのが第一にありました。数がないと返礼品も選ばれないので、提案の評価が高かった業者が選ばれました。

（以上）

（6） 令和5年度手指用アルコール消毒液購入（単価契約）

【担当課：資産管理課】

担当課（服部）：内容について説明した。

福島委員：アルコール消毒液の使用期限はどのくらいでしょうか。

担当課（服部）：メーカーに確認すると未開封で3年くらいと聞いています。

福島委員：年間で3,590本を予定されていますが、そうすると月平均で大体300本くらいです。今後、収束というか、いつまでもアルコール消毒液が必要になるわけではないと思うので、大量に在庫が余ることもあり得ると思いますが、在庫管理は行政と業者のどちらで管理するのですか。

担当課（服部）：単価契約ですので、仕様書で上限の数量は出ていますが、例えばひと月に予定だと150本と記載していたとして、実際に各課で調査をして必要な本数は100本だったとしたら、100本を発注して納品してもらうことになっています。

福島委員：在庫は各課で保管をしているのですか。

担当課（服部）：揮発性が高いので、必要数以外は各課で保管しないようにしています。

福島委員：各課に何本くらいストックがあるか、在庫表は作っていますか。

担当課（服部）：毎月調査をするときに、前月配った残りは何本あるかを併せて調査をしています。

原委員長：だいぶ落ち着いてきて、発注量は減ってきているのですか。

担当課（服部）：5類になってから、各課からの要望は徐々に減ってきていますが、小中学校や保育園など、子供が関わる施設というのは、依然として対策を

していかなければならないので要望が多いです。

(以上)

(7) 我孫子市役所議会棟第一委員会室改修工事

【担当課：資産管理課】

担当課（荒井）：内容について説明した。

原委員長：我孫子市公共建築工事積算基準は公表されているのですか。

担当課（荒井）：公表されています。

原委員長：そうすると、落札者もこの基準で金額を算出して、その金額で応札したらイコールであったというような流れになるという理解でよろしいでしょうか。この基準はいつ頃に、こういった形で作られたのでしょうか。

担当課（荒井）：そのとおりです。毎年、材料単価と労務単価が改定されますが、それに伴う我孫子市公共建築工事積算基準の改定については、順次行っています。ただ、昔から順次改定を行っているので、当初がいつだったかというのはいわかりません。

原委員長：元々何かを参考に作成され、我孫子市独自で作成したわけではないですよ。

担当課（荒井）：実際には国や県の基準がありまして、それを参考にしています。

原委員長：県の基準をそのまま使用しているのですか。

担当課（荒井）：そのとおりです。

原委員長：競争の原理が働いて、予算消化をなるべく抑えたいと思いますが、1者で100%の応札ですと、もう少し予定価格を検討する必要があったのではないかと思ったので、この案件を提出させていただきました。そこは何か思うことはありますか。

担当課（荒井）：積算基準自体は、誰が見積っても同じような金額になります。今回は4月の入札で5月、6月に控えている工事もありましたので1者になってしまいましたが、本来であれば、競争が働いて最終的な価格が下がると考えています。

福島委員：5月から12月にかけての工事ということで、他の工事とバッティングしたというのは我孫子市の工事ということですか。

担当課（荒井）：そのとおりです。

福島委員：この予定価格が安すぎたのではないかと私も感じたのですが、あまり魅力がないから、入札に参加する企業が少なかったのではないのでしょうか。

担当課（荒井）：実際、同時期に、消防署の改修や学校の改修で1億円を超えるような工事がありましたので、そちらに魅力を感じた可能性は十分考えられると思います。

福島委員：我孫子市の方で同時進行の案件があるのであれば、多少その辺も加味して予定価格を算出された方がいいのではないかと思います。

(以上)